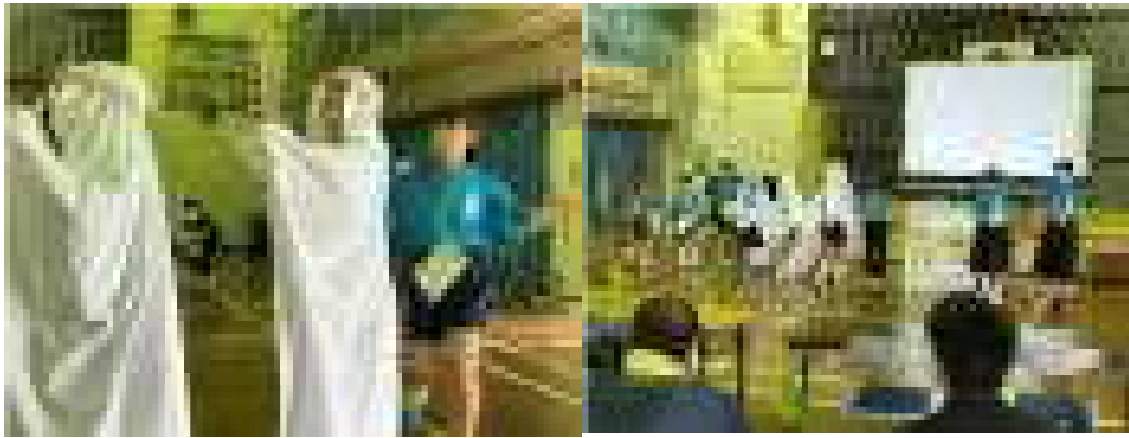


徳之島町立手々小学校 ～おちたぼりの伝承活動～



手々区では、お盆の時期におちたぼり（町指定無形民俗文化財）という祭りを行う。おちは「餅」、たぼりは「給れ」で、その起源ははっきりしていないが、数百年続いている行事である。

男性が白い布をかぶって顔を隠し、アングーと呼ばれる女性の格好をする。独特な雰囲気を持ち、扇子と棒を持って、三味線と太鼓のリズムに乗りながらゆったりと大きく踊る。女性は浴衣に手ぬぐいをかぶって手踊りをする。

毎年、9月に手々区の老人会の方々に、ふれ合い学習の中で、踊り等を教えていただいている。また、8月上旬には祭りに向けて、区全体で練習を行っている。

例年、徳之島にトリアスロンや実業団の合宿で訪れる方々を対象に、われんきゃガイド（町歩きガイド）を年2回ほど実施しており、その中でも、歓迎の意味を込め、おちたぼりを披露している。